



JICAミャンマー 工学教育拡充プロジェクト

EEHE PHOTOLETTER



日本で博士号を取得した6研修員がミャンマーに帰国しました！



ユザナ・ウィン博士の帰国報告セミナー
(4月26日@ヤンゴン工科大学)



イン・イン・エイ博士の帰国報告セミナー
(5月4日@マングレー工科大学)

「批判的な考え方、技術論文の書き方、研究の仕方、他の研究グループとの協働の仕方、そして著作権についてです」。ユザナ・ウィン博士（ヤンゴン工科大学コンピュータ工学・情報技術学科、講師）は、日本で何を学んで来ましたがと言う問いに対し、こう答えました。博士はEEHEプロジェクトのJICA長期研修である本邦博士プログラムに参加し、3月に帰国した6人の研修員の1人で、長崎大学から博士号を授与されています。

イン・イン・エイ博士（マングレー工科大学メカトロ工学科、講師）も同プログラムに参加し、岡山大学で博士号を取得して来た1人です。同博士からはマングレー工科大学の教員へいくつか提案がされ、それぞれの教員が独自の分野1つを強調して更に深く研究すること、それぞれの研究の実験活動を向上することなどを挙げられていました。

EEHEプロジェクトは、帰国研修員の皆さんが日本で学んだ知識や技術を他の教員や学生と共有し続け、2大学の「研究、教育、システム」が更に向上して行くことを期待しています。

** Voices from 長期研修員 **



ミン・トー・トゥン博士 (長崎大学*)
ヤンゴン工科大学機械工学科 講師
私はターボ機械構成要素（例えば遠心圧縮器、遠心ブロワーとターボファン）の最適化について研究して来ました。今後はヤンゴン工科大学の若いエンジニアに学んだ知識や経験を共有して行きます。



ウィン・ゾー・ヘイン博士 (金沢大学*)
マングレー工科大学エレクトロニクス学科講師
日本の研究室は学生のセカンドホームになっています。また学部から博士課程研究まで専門は同じです。大学が全ての学生の研究に対して経済的に支援するのもミャンマーとは違う点でした。



ニー・ニー・トゥー博士 (金沢大学*)
ヤンゴン工科大学繊維学科 講師
私はニット繊維の機械的特性についてシミュレーションによる研究をしました。日本語のコミュニケーションは難しかったですが、研究の手順や、研究には協働が必要だという、重要なことを学びました。



マイ・カイ・スアン・ティアル博士 (金沢大学*)
ヤンゴン工科大学電力学科講師
日本での研究は、現在の私のミャンマーでの仕事の原動力になっています。日本では、研究者としてのチームワーク、問題解決、考察法を学びました。日本人はとても親切で有能で、とても良い経験になりました。

*括弧内の大学名はそれぞれの研修員が研究し、博士号を取得した大学です。

日本の各大学で研修員をご支援頂いた関係者の皆様、ありがとうございました！

EEHE Project Office: Yangon Technological University, Insein Township, Yangon, Myanmar
このPhotoletterで共有できるトピックや情報がありましたら、是非ご連絡ください。

